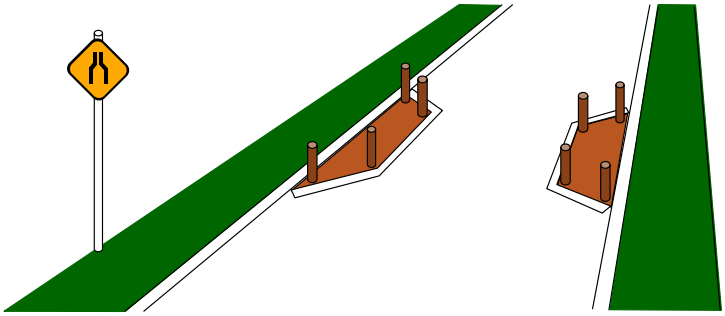
➢ 狭さく

課題	・単路部での車両の通行速度が高い。
対策内容	車両の通行速度の高い箇所において、狭さくを設置する。
効果	自動車の通行部分の幅を物理的に狭くする、あるいは視覚的にそう見せることにより自動車の運転者が速度を低減する。但し、速度抑制効果はハンプの方が大きい。



単路部の狭さく

通行速度の高い区間に両側狭さくを整備（標準形：3.0m）（愛知県 稲沢（いなざわ） 市）
○対策後
・狭さくの設置 ・車線分離標（ラバーポール）を設置

通行速度の高い区間に両側狭さくを整備（3.0m未満）（千葉県鎌ケ谷（かまがや）市）

○対策後

・大型車や通過交通を抑制するため、狭さくの幅員を「凸部、狭窄部及び屈曲部の設置に関する技術基準」における標準形3.0mよりも狭めて設置

通行速度の高い区間の横断歩道に歩道張り出しによる狭さくを整備（東京都文京（ぶんきょう）区）

○対策後

・横断歩道付近への速度抑制策として狭さくを設置

・横断歩道である事を強調するため、歩道を車道側に部分的に張り出した